

# 婦人科がんについて～疾患の正しい理解のために～

婦人科がんは女性の性器にできる女性特有のがんです。いわゆる内性器（子宮と卵巣）にできる子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんがもっとも多くその原因と症状、治療法は全く異なります。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス感染が原因でワクチン接種による予防や検診による早期発見が可能です。子宮体がんはホルモンの影響があり、糖尿病、肥満、高血圧など生活習慣と関係があります。卵巣がんは症状が出にくく進行症例の割合が高くなっています。子宮体がんと卵巣がんには遺伝が関連するタイプもあります。今回は婦人科がんのそれぞれの特徴を出来るだけわかりやすく解説します。

日時：2021年4月30日(金) 場所：山王病院 本館3階 山王ホール

時間：14:00～15:00 (開場13:30)

定員：30名 完全予約制 参加無料

◆プログラム(予定)◆ ※多少前後することがあります  
14時～子宮頸がん・子宮体がんについて(三浦医師)  
14:25頃～卵巣がんについて(恩田医師)  
14:50頃～質疑応答



**恩田 貴志 (おんだ・たかし) 女性腫瘍センター・婦人科 部長**  
専門：婦人科(婦人科腫瘍) 国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授

東京大学卒、医学博士  
前北里大学産婦人科学婦人科学主任教授、元国立がん研究センター婦人腫瘍科医長、元東京大学医学部附属病院産婦人科助教、米国 Fred Hutchinson Cancer Research Center 留学、元埼玉県立がんセンター婦人科  
日本産科婦人科学会認定指導医・産婦人科専門医、日本婦人科腫瘍学会認定指導医・婦人科腫瘍専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

がん専門病院および大学病院で、長年子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、など婦人科悪性腫瘍全般の診断、治療、研究に関わってきました。悪性腫瘍に対して標準治療(従来の治療より、より効果の高い治療、より治療侵襲の少ない治療)の開発を目指す、前向きな臨床試験にも関わってきました。これらの経験を生かして、それぞれの患者様の希望も確認しながら、より良い治療の提供を心がけています。



**三浦 紫保 (みうら・しほ) 女性腫瘍センター・婦人科 副部長**  
専門：婦人科(婦人科腫瘍) 国際医療福祉大学 臨床医学研究センター准教授

浜松医科大学卒、東京大学大学院修了 医学博士  
前東京都立墨東病院産婦人科医長、元埼玉県立がんセンター婦人科医長、元東京大学医学部附属病院女性外科助教、元東京新宿メディカルセンター、元日立総合病院、元NTT東日本関東病院  
日本産科婦人科学会認定指導医・産婦人科専門医、日本婦人科腫瘍学会認定婦人科腫瘍専門医、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

産婦人科全般の研修を積んだ後、大学院で子宮頸がんの免疫関連の研究に携わってきました。その後は大学病院、がん専門病院を経て、がん診療連携拠点病院で婦人科悪性腫瘍の診療を中心に従事してきました。悪性腫瘍の内視鏡手術にも取り組んでおり、標準治療を遵守したうえで、より幅広い医療の提供をめざしています。常に患者様に寄り添った、全人的な医療を心がけています。

～参加方法～ **感染拡大防止のため、当日会場での聴講と後日Web視聴の2つの方法で行います。**

■ **会場聴講**：定員30名 完全予約制 (定員になり次第締め切ります。当日定員に満たない場合はご入場いただけますが、感染拡大防止のため、定員を超えた場合は会場にはお入りいただけません。) 以下の事項を記載の上、FAX またはHPのお申込フォームのいずれかでお申込みください。  
FAX：03-3404-3652 (さんのう健康講座事務局宛)

■ **Web聴講**：HPのお申込フォームからお申込みください。お申込みいただいた方に、会場撮影した映像を後日メールにて配信いたします。申込フォームにアクセス→



※太枠内は必須項目です。

お名前(フリガナ)			参加人数	名 ※最大2名まで
お電話	〒	ご住所		